



冬の生き物好きの生態

あの長く続いた猛暑が嘘だったかのように、すっかり寒くなりました。生き物たちは、寒くなってくると、冬眠をしたり、外国に飛んで行ったり、卵を生んで次世代に命を繋いだりと、それぞれの方法で冬を越します。では、生き物好きは、どうやって生き物があまりいないさみしい冬の季節を越すのでしょうか。

真面目な話題が長いこと続いたので、今回は一部の方に大好評の生き物をテーマにした通信です。

↓これは秋～春にかけての生き物好き（私）の行動と心情をまとめた表です

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・飼っていたクワガタなどがみんな天国へ・・・ ・妙にカマキリがたくさん捕れる時期になるが、全然エサを食べないのであまり楽しくない。 ・トカゲやカエルもエサをあまり食べなくなってさみしくなってくる。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・カマキリがそのまま動かなくなってお亡くなりになり...虫かごにカマキリの卵囊がついているので、一応かごはそのままにしておく。 ・トカゲやカエルが土にもぐって、出てこなくなり一層さみしくなる。 ・魚やエビは元気に泳いでいるので、それらを見て気持ちを和ませる。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・トカゲやカエルが活着ているか心配になって土を掘り起こす。元気に生きていてホッとす。 ・魚やエビに飽きてくる→アクティビティ①②
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・寒すぎて外に出たくなくなる。 ・しかし、アカガエルの産卵時期が近づくのでそわそわし、休みの日の度に「ちょっと田んぼ見てくる」と言い始める。→アクティビティ③
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ寒いですが、休日、晴れて少し暖かい日になると、春の訪れを感じて生き物と触れ合いたくなる→アクティビティ④
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒキガエルの産卵時期、カエル合戦を見るために毎晩池に行く。大体見逃して卵だけ見つける→再びアクティビティ③ ・飛び交うモンシロチョウや春の野草を見つめながら春の訪れを感じ、喜びに打ち震える。

アクティビティ①「植物を育てる」

生き物の代わりに、いろいろな種を発芽させて栽培します。

毎年やっているのはドングリです。発芽率も高く、どんどん成長し、子どもたちの関心も高く、学習にも繋がります。

ドングリが種であり、そこから木になることを知らない子はとても多いです。例えば知識としては知っていても、その様子を実際に見たことがある子は少ないです。

「空気・水・温度」という理科で習う発芽の3条件も学べます。

今は、種から発芽させた枇杷とマンゴー、ドングリを育てています。

子どもたちが持ってきた、みかんやりんご、なし、キウイの種も栽培中です。

(なしとキウイは発芽しました)

もしも興味があったらおすそ分けするのでお声掛けください。植物もいいものですよ。



【2-1教室で育てています】

アクティビティ②「プールで釣り」

日進市では、毎年冬の間には市民プールを利用したマス釣りができます。

手ぶらで行けて気楽に釣りを楽しめ、スタッフの方が親切に釣り方やコツを教えてください。（混んでいないのもありがたいです。）

冬のプールの有効利用というのも社会的にとっても勉強になります。

魚を捌いたり食べたりするのもよい経験になるでしょう。

ここ3年ほど行っていて、今年は12月7日オープンだったので先日さっそく行ってきました。



【手軽で気軽に非常におすすめです】

今年は息子たちにも魚を捌くのを手伝ってもらいました。生き物好きの息子が、捌かれながらもまだ必死で口をぱくぱくさせているニジマスを見つめ、「これから食べる分だけ釣るようにしよう・・・」と呟いていました。何か命を感じる機会になったんだなと思った瞬間でした。

アクティビティ③「オタマジャクシの飼育」

ほとんどのカエルは夏かけて産卵しますが、例外的にアカガエルは1月下旬～2月上旬に、ヒキガエルは3月に産卵します。

寒い時期に産卵することで、オタマジャクシが天敵に襲われなかったり、競争相手より先に体を大きくすることができるからだと考えられています。

私はオタマジャクシもカエルも好きなので、この時期になると毎週、あるいは毎日田んぼや池を見に行きます。

特に、3月のヒキガエルの産卵は、カエル合戦と言われて、毎年地域のヒキガエルたちが一堂に会すので、非常に見応えがあります。

ここ2年はカエル合戦を見逃しているのので、ぜひ今年は見たいです。



【3年前に目撃したカエル合戦】



【これがどのカエルの卵塊が分かったらすごいです】

アクティビティ④「白い宝石探し」

白い宝石、それはカブトムシの幼虫です。己の知識と経験、勘を頼りに探します。

知り合いの方から、カブトムシの幼虫をもらったことがある方はきっといると思いますが、人からもらうのと自分で野生のものを見つけるのとでは、思い入れが大違いです。

2匹しか見つからなかった日もあれば、一度に60匹以上見つかったこともあります。スズメバチや蚊がいなくなり、雑草も枯れはてた12月以降ならいつでもできますが、あまり寒いとつらいのでやるなら2月か3月の晴れた方がいいでしょう。

残念ながら写真がなかったので、捕れ次第写真とともに報告させていただきます。生き物好きの一部の方々、楽しみに待っていてください。